

IV 教育振興基本計画の6つの施策の柱に基づく主な事業

- ◆教育目標である「未来を拓く(ひらく) たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向けて、重点施策に掲げた5つの取組に加え、教育振興基本計画に掲げた6つの施策の柱に沿った事業を総合的・計画的に推進します。

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえた確かな学力の育成を図るとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期の教育など、子どもたちが多様な人々と協働して力強く生きていくための基礎となる力を育みます。

また、豊かな心を育むため、人権教育を推進するとともに、体力の向上などにより、健やかな体を育成します。

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

グローバルな視点で活躍し、イノベーションを担う人材の育成に資する英語教育や理数教育の充実を図りながら、未来を切り拓いていくために必要な新たな価値を生み出す創造性と多様な他者と協働して行動できる人材を育みます。

3 誰一人取り残されることのない教育の推進

障害や、いじめ・不登校等の困難を有する児童生徒の多様なニーズに対応した教育を推進します。

4 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

本県教育の基盤であるコミュニティ・スクールを核として、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりによる子どもたちの学びや育ちを支える取組の充実を図ります。

5 生涯を通じた学びの充実

県民のニーズに応える学習機会を提供し、人生100年時代を見据えた社会教育の推進を図るとともに、文化・芸術に親しむ環境の整備や、スポーツを楽しみ、競技力向上に向けた施策を展開します。

6 豊かな学びを支える教育環境の充実

学校における働き方改革の推進や、教員の確保と教職員の育成に取り組むとともに、特色ある学校づくりなどにより、持続可能な教育体制と質の高い学校教育を推進します。
また、学校施設の老朽化対策や防災対策など、学校の安心・安全対策を進めます。

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

学びに向かうやまぐちっ子育成事業

7,293千円

全ての子どもたちの可能性を引き出すために、特定の学力課題の克服や学習習慣の確立などの課題解決を図るとともに、学習指導要領で求められる資質・能力を本県の子どもたちに確実に身に付けさせ、子どもたちの自己実現を支援します。

■ 学力PDCAサイクル事業

- 山口県学力定着状況確認問題の作成及びC B Tによる実施

[実施時期] 10月中旬

[対象学年(実施教科)] 小学校 第5・6学年(国語、算数)

中学校 第1学年(国語、数学)

中学校 第2学年(国語、数学、英語)

- 学力分析支援ツールの提供と活用促進 等

■ 授業力向上事業

- キャリアステージに応じた研修会の実施
 - ・ 管理職リーダーシップアップ研修
 - ・ ミドルリーダーレベルアップ研修
- 授業力向上実践研究の推進(指定校: 県内7校)



【授業力向上実践研究指定校の研究発表会】

学校マネジメント力強化推進事業

5,096千円

子どもが新たな時代に社会で活躍するために必要な力を身に付けることをめざし、校長のマネジメント力の強化など、教員同士が学び合う環境を構築することで、組織的な教育活動の実践を推進します。

■ 新たな学びの推進

- 市町立小・中学校の校長等管理職と中堅教諭等を対象とした学校マネジメントに関する研修の実施
- 組織的な教育活動の校内実践による、多様な他者と協働した探究的な学びや、教科等横断的な学びといった、「新たな学び」の全県展開

■ 「やまぐち型伴走支援」の推進

- 指導主事・社会教育主事等を対象とした学校支援に関する研修の実施により、学校の新たな学びの推進に向けた取組を支援
- 「やまぐち型伴走支援の手引書」の改訂・活用による、県内全ての公立小・中学校の教育水準の維持・向上



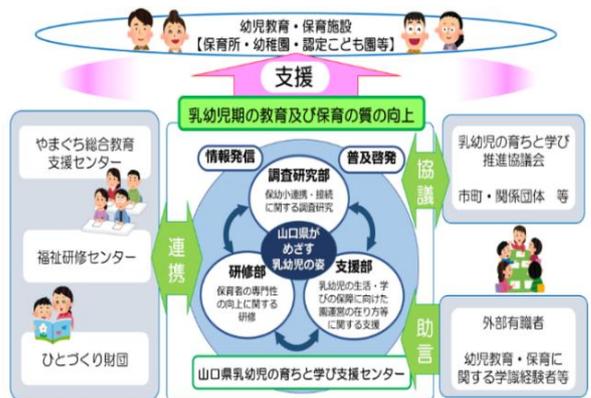
《探究的な学びの授業風景》

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点として、幼児教育・保育施設に対し、国公私立や施設類型の区別なく研修等の機会や情報を提供して、幼児教育・保育の質の向上を図ります。

- 保育士・幼稚園教諭・保育教諭に対する研修
 - 現場のニーズ等に対応した研修の充実
 - 幼稚園教諭一種免許状取得に係る認定講習の実施
- 市町や幼児教育・保育施設に対する助言
 - アドバイザー等による訪問支援の拡充
 - 次世代のアドバイザーの育成（プレアドバイザー）
- 乳幼児期の教育及び保育に関する情報提供・啓発
 - 幼児教育・保育施設、保護者等への情報発信
 - SNS を活用した積極的な情報発信
- 保幼小連携の推進
 - 冊子「はじめのいっぽ もういっぽ」の活用・成果検証
 - 県担当架け橋期のコーディネーター及び地域担当架け橋期のコーディネーター（幼児教育・保育長期研修生派遣市町）の派遣
 - 架け橋期のコーディネーター育成研修の実施

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や幼児教育・保育施設に対する助言・情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



【アドバイザー等による訪問支援】



【架け橋期のコーディネーターによる講演】

《重点施策（再掲）》

（単位：千円）

事業名	事業費	再掲項
新 あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業	12,039	4
新 生成AI搭載やまプリCBTによる学力向上支援事業	102,849	14
生成AI・学習アシスタントアプリケーション運用保守経費	42,174	15
明日のやまぐちを創る！高校生就職支援事業	58,476	7
やまぐち高大パートナーシップ強化事業	4,011	9
新 学校給食費負担軽減事業	3,199,777	19
県立学校給食費に係る物価高騰差額補助事業	14,272	19

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

14,545 千円

海外留学に向けた機運の醸成や、海外留学する高校生への支援とともに、世界トップレベルの大学と連携した講義の実施により、将来の山口県を担う、グローバル・リーダーを育成します。

■ スタンフォード e-Yamaguchi プログラム

- スタンフォード大学と連携したオンラインプログラムの実施

現代的な諸課題をテーマとして、スタンフォード大学教員のファシリテートを受けながら、オールイングリッシュによるオンラインの講義・ディスカッション・プレゼンテーションを実施

[対 象] 県内の高校生 30 名
[時 期] 9月から3月 (全10回)
[内 容] 現代的な諸課題についてのテーマ別講義
・ディスカッション・プレゼンテーション
等をオールイングリッシュにより実施



■ 短期留学プログラム

- 短期留学プログラムの実施及び参加生徒への留学経費補助 (一人6万円)

[対 象] 県内の高校生 20 名
[派遣先] オーストラリア (夏期約2週間)



東部地域グローバル人材育成事業

103,520 千円

「地域に住む外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的 (グローバル) な視点や経験を生かして、自分たちの地域 (ローカル) 社会に貢献する活動を行う人材を育成します。

- グローカル人材に必要とされる「語学力・コミュニケーション力」「多様性や多文化共生を理解する力」「自ら考え、物おじせず行動する力」及び「地域で活躍し、自らが地域を変えていく力」の総合的な育成をめざして、5つのプログラムを実施

[内 容]

- (1) 語学力育成プログラム (オンライン英会話)
- (2) グローバル探究プログラム (海外研修)
- (3) 国際交流体験プログラム (外国人との交流等)
- (4) ローカル探究プログラム (地域探究)
- (5) グローカル・ラボ (人材育成へとつなげる研修)



将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、科学技術に対する興味・関心の喚起や体験的・探究的活動の充実など、質の高い系統的・継続的な理数教育の推進を図ります。

■ ヤング・サイエンティスト拡大事業（YSE事業）

- 山口大学等と連携して開催する科学教室に、高校生が講師として参加することで、小・中学校段階での科学技術に対する興味関心を喚起するとともに、高校生の科学に関する資質・能力を向上

■ やまぐちサイエンス・サポート事業（YSS事業）

- 理数教育推進拠点校における理数教育に関する体験的・探究的な教育活動の取組を充実し、全県的に理数教育を推進

■ やまぐちサイエンス・チャレンジ事業（YSC事業）

- やまぐちサイエンス・キャンプの開催
- 「科学の甲子園・科学の甲子園 Jr」山口県大会の開催



《重点施策（再掲）》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
山口県公立学校情報機器整備基金積立金 (R7 補正)	908,868	15
〔拡〕 やまぐちスマートスクール構想2. 0推進事業	2,178,936	16
DXハイスクール推進事業	76,000	17
県立高校等1人1台端末購入費支援事業	155,895	17
〔新〕 やまぐち専門高校魅力創出事業	19,931	6
DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業	10,000	9
やまぐち高大パートナーシップ強化事業	4,011	9

3 誰一人取り残されることのない教育の推進

☐ インクルーシブ教育システム推進事業

11,696 千円

障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの充実に
向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進します。

■ 外部専門家の活用

- 障害の重度・重複化、多様化に対応するため、障害のある児童生徒が在籍する学校へ専門家を派遣

■ 就職支援コーディネーターの配置

- 高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、コーディネーターを県立特別支援学校4校に配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施

■ 高等学校における特別支援教育の充実

- 専門性の高い退職校長等を「特別支援教育スーパーバイザー」として配置し、校内体制の整備、人材育成に向けた管理職への助言

■ 特別支援学校におけるキャリア形成

- 「きらめき検定」を通して、児童生徒の社会参加できる力を育成



【外部専門家の活用】



【きらめき検定】

就学奨励費

258,165 千円

特別支援学校に通う児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、国の制度に沿って、就学のために必要な経費を支給します。

[対象者] 特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

[対象経費] 特別支援学校の就学に必要な経費

[主な支給内容等]

《負担割合》国 1/2 県 1/2

経費区分	支弁区分	支給額	経費区分	支弁区分	支給額
学校給食費	I	実費	修学旅行費 (本人経費) ※上限あり	I	実費
	II	実費の 1/2		II	実費の 1/2
	III	—		III	—
交通費 (本人経費)	I	実費	学用品購入費 ※上限あり	I	実費
	II	実費		II	実費の 1/2
	III	実費		III	—

日本語教育支援体制整備事業

18,434 千円

日本語指導が必要な児童生徒が、適切な指導・支援の下で将来への現実的な展望がもてるようにするため、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、日本語指導補助者・支援員等による継続的な支援を行い、切れ目ない日本語教育を推進します。

■ NPO法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施

- 日本語指導が必要な児童生徒を対象に、遠隔日本語教育に知見を有する民間団体によるオンライン日本語指導を実施
- 対象児童生徒は、1人1台タブレット端末を活用して、日本語レベルに適した双方向のオンライン日本語指導や学習支援講座を集中的に受講



【NPO法人】



【オンライン】



【学校】



【実際の授業の様子】

■ 指導補助者・支援員等による日本語教育サポートの補助

- 日本語指導が必要な児童生徒が、在籍学級において一斉指導を受ける中で、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等が、日本語指導が必要な児童生徒のそばに付き添って学習を支援し、教科学習に必要な日本語能力の向上を図る取組を補助

国公立高校生奨学給付金事業

502,507 千円

授業料以外の教育費負担の軽減を図り、生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、低中所得世帯等の生徒に対して奨学のための給付金を支給します。

■ 高校生等奨学給付金

〔対象者〕○年収約490万円未満の世帯で国公立の高等学校（専攻科除く）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒

○年収約380万円未満の世帯または年収約380万円以上約600万円未満の多子世帯で国公立の高等学校（専攻科）に在学する生徒

※外国籍生徒は一部対象外

〔対象経費〕 授業料以外の教育に必要な経費（教科書費等）

〔給付年額〕

《負担割合》 国 1/2 県 1/2

世帯区分	支給額
生活保護受給世帯	32,300 円 (通信制：32,300 円 専攻科：50,500 円)
住民税所得割非課税世帯	143,700 円 (通信制：50,500 円 専攻科：50,500 円)
年収約270万円以上約380万円未満の世帯	47,900 円 (通信制：16,830 円 専攻科：16,830 円)
年収約380万円以上約490万円未満の世帯	35,930 円 (通信制：12,630 円)
年収約380万円以上約600万円未満の多子世帯	12,630 円 (専攻科)

公立高等学校等就学支援事業

2,429,109千円

公立高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図るため、国の制度に沿って就学支援金等を支給することで、授業料を実質無償化します。

■ 高等学校等就学支援金

[対象者] 公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）に在学する生徒
※外国籍生徒は一部対象外

[支給額] 全日制：9,900円/月、定時制：900円/月、通信制：100円/単位
《負担割合》国 3/4 県 1/4

■ 専攻科修学支援事業

[対象者] 年収約380万円未満の世帯または多子世帯で公立の高等学校（専攻科）に在学する生徒

[支給額] 年収約270万円未満の世帯 9,900円/月
年収約270万円以上約380万円未満の世帯 4,950円/月
多子世帯 ※所得制限なし 9,900円/月
《負担割合》国 1/2 県 1/2

県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業

51,884千円

県立高等学校の再編整備により、居住地域に県立高校がなくなることに伴い、予期せぬ進路変更により遠距離通学が必要となった生徒に対して、一定の期間、通学費の支援を行います。

■ 遠距離通学支援制度

[対象者] 県立高校の再編整備により、平成の合併前の市町村単位で高校がなくなった地域に居住し、県内の高等学校（私立高校含む）に通学する生徒

[対象経費] 公共交通機関等により通学に要する経費の7千円/月を超える額
(上限額1万円/月)

[対象期間] 募集停止後5年の期間内

《重点施策（再掲）》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業	222,425	12
中学校及び高校0年生からの教育相談事業	34,038	12
〔拡〕 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化	給与費	13
〔拡〕 スクールソーシャルワーカー（SSW）による支援体制の強化	給与費	13
法務相談等の支援強化に向けたスクールロイヤーの配置	6,499	13

4 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

地域教育力日本一推進事業

43,004 千円

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進します。

■ 全県的な推進体制の強化

- 山口県地域連携教育推進協議会の開催
 - ・各学校・地域において質の高い取組が行われるよう、県施策の充実や改善について協議

■ 推進の核となる人材の養成

- 地域協育ネットコーディネーター・家庭教育アドバイザー養成講座及びステップアップ講座の開催

■ 研修の充実

- 管理職・学校運営協議会会長等を対象としたコミュニティ・スクール経営に係る研修会の開催
- 地域連携教育関係者を対象にした研修会の開催
- 家庭教育支援チーム等を対象にした研修会の開催

■ 活動充実に向けた普及啓発

- 地域連携教育に係るリーフレット等の作成・配布及び取組事例の紹介資料の作成・周知
- 地域連携教育広報番組「はつらつ山口っ子」制作・放映（第3日曜日「家庭の日」放映）

■ 地域学校協働活動の充実

- 地域協育ネット等の取組・放課後子ども教室・地域未来塾の充実【実施主体：市町】
- 地域学校協働活動推進員の活動充実【実施主体：県・市町】
- 家庭教育支援の充実【実施主体：県・市町】

やまぐち部活動改革推進事業

28,317 千円

公立中学校等における部活動の地域展開に向け、学校や保護者等を対象とした普及啓発や、人材確保を図ります。

■ 協議会・セミナーの開催

- 関係機関・団体等との連携による協議会の開催
- 学校関係者等を対象としたセミナーの開催

■ 部活動指導員を配置する市町の支援

- 学校部活動の地域展開に向けた人材確保のため、部活動の技術的な指導や大会への引率等を行う部活動指導員を公立中学校に配置

《重点施策（再掲）》

（単位：千円）

事業名	事業費	再掲項
新 やまぐち創生！「地域の創り手」育成推進事業	66,880	5
新 部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業	479,270	20

5 生涯を通じた学びの充実

新 「やまぐち昆虫発見隊」 開催費

15,370 千円

県立山口博物館において、標本展示をはじめ、イラストや体験型コンテンツにより、昆虫の暮らしぶりや驚きの生態を楽しく学ぶことができる特別展を開催します。

■ 開催期間 令和8年7月23日（木）～8月23日（日）[会期：28日間]

- 展示構成
- 1 身近で気になる昆虫ランキング
 - 2 Let's go 昆虫ハンティング
 - 3 山口県の昆虫
 - 4 体験・撮影コーナー
 - 5 工作コーナー



- 《みどころ》
- ・よく目にするけど、名前も知らない昆虫たちのあっと驚く生態を紹介！
 - ・数万匹に1匹！雌雄両方の特徴をもつクワガタ標本の公開
 - ・カブトムシなどの甲虫が集まる夜のライトトラップ体験
 - ・県内各地域のシンボルとなる昆虫の週替わり展示
 - ・生き物観察アプリを用いた親子で楽しむ昆虫探し企画
 - ・紙に描いた昆虫イラストが壁に投影され動き出す参加型アトラクション

■ 県内関連施設等との連携 スタンプラリー、ギャラリートーク

新 山口ならではの自然体験活動推進事業

5,000 千円

山口ならではの豊かな自然の中で、山口ならではの教育手法を用いた自然体験活動を推進し、子どもたちのふるさと山口への誇りと愛着や、主体性をはじめとした「生きる力」を高め、地域の未来を自ら考え、豊かな人生を主体的に切り拓いていく「地域の創り手」を育みます。

■山口ならではの豊かな自然の体験

- ユネスコ世界ジオパーク認定に向け機運の高まる Mine 秋吉台ジオパークを舞台として、地域の人と交流しながら、自然や歴史、文化等を体験

[対象] 小・中学生

[内容] ・自然体験キャンプの実施

- ・歴史・文化など地域の魅力を発見するプログラムの実施
- ・地域の子どもの等々のプログラム企画への参画



■山口ならではの手法による「地域の創り手」の育成

- やまぐちアドベンチャーキャンプの実施

[対象] 小・中学生

[内容] ・野外活動とカウンセリングを組み合わせた長期自然体験活動の実施

- ・主体性等、「生きる力」を向上するプログラムの構築



- AFPY (Adventure Friendship Program in Yamaguchi) の推進

- ・個人の成長を図り、豊かな人間関係を築く、山口県独自の体験学習法の普及・促進

- 地域を創る力の測定手法の設定

- ・「ふるさと山口の未来を創る心意気の向上」と「主体性をはじめとした生きる力の変容」に着目した体験活動の効果を測定する手法の設定

- ・測定結果を踏まえたプログラムの充実

- 体験活動に取り組む若手指導者の確保と指導者養成の充実

市町人権教育推進事業費補助事業

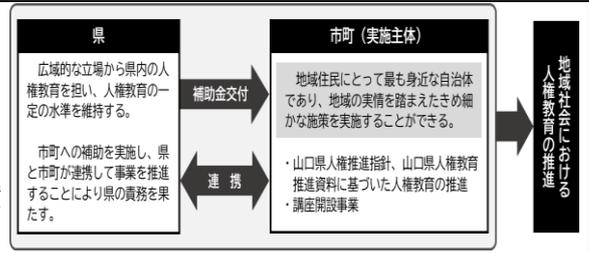
2,640千円

人権教育に関わる学習機会の確保、充実に努めるため、市町で実施する人権教育に係る事業を支援し、「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会」の実現に向けた取組を推進します。

■ 人権教育を推進するための講座開設事業への補助

[対 象] 市町

- [内 容]
- 広く地域住民を対象とした講座開設
 - 市町内を巡回して行う講座開設
 - 体験・交流活動等を主とした講座開設
 - 指導者を養成するための講座開設



全国高等学校総合文化祭開催準備経費

25,988千円

令和10年に山口県での開催が内定している「第52回全国高等学校総合文化祭」(やまぐち総文2028)の開催に向けて、関係団体と連携して準備を推進します。

■ 事業内容

- 実行委員会・生徒実行委員会の設置・運営
- 大会PRイベントの開催や広報活動の充実
- 各開催部門の活動強化の支援

■ 大会概要

- 会 期 令和10年7月下旬～8月上旬(予定)
- 会 場 県内の文化施設等
- 開会行事 総合開会式、パレード
- 開催部門 規定19部門、協賛2部門

新 令和8年度全国中学校体育大会開催費

13,260千円

中国ブロックで開催される令和8年度全国中学校体育大会の円滑な運営を図るため、その開催費を支援します。

■ 大会概要

- 開催期間 令和8年8月17日(月)～8月24日(月)
- 開催競技 16競技
- 山口県の開催競技及び開催市等

開催競技	開催市・競技会場	開催期間
陸上競技	山口市 維新みらいふスタジアム (維新百年記念公園陸上競技場)	8/20～8/23 [4日間]
剣道	下関市 J:COMアリーナ下関 (下関市総合体育館)	8/21～8/23 [3日間]

6 豊かな学びを支える教育環境の充実

学校安全総合推進事業

4,915千円

「第3次山口県学校安全推進計画」を踏まえ、学校安全の取組を総合的かつ効果的に推進していくため、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施します。

■ 第3次山口県学校安全推進計画に基づく取組の推進

各学校における安全確保に向けた取組状況の検証及び、地域の実情に応じた実効性のある取組の在り方についての研修の実施

- 地域別学校安全推進研修会

■ 地域ぐるみの学校防災総合推進事業

大規模災害の発生に備え、学校が家庭・地域・関係機関との連携を強化するとともに、災害発生時に児童生徒が自らの安全確保と他の人々や地域の安全に貢献する力を育成

- コミュニティ・スクール等の連携・協働体制を生かした、大規模災害対応訓練
- 能登半島地震等の災害ボランティア活動講演会
- 専門家等と連携した出前授業や学校防災アドバイザーの派遣

■ 子どもたちの安心安全総合推進事業

コミュニティ・スクール等の連携・協働体制を生かした、学校・家庭・地域が連携した防犯を含む生活安全や交通安全の取組の実施

《重点施策(再掲)》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
新 山口県公立高等学校教育改革促進基金積立金(R7補正)	60,000	8
拡 県立高校空調整備関連事業	276,368	10
県立学校施設等のトイレ洋式化(総務部一括計上)	372,000	10
拡 高校再編に係る施設整備関連事業	3,973,448	11
県立学校施設整備事業	5,741,924	11
教員業務支援員の配置	148,960	18
拡 教職調整額	給与費	18
人づくりを支える教師確保推進事業	13,354	18
拡 教職員採用等選考実施費	25,997	19
新 高等学校教育改革実行計画策定経費	1,807	8